

税の助け

小平市立小平第五中学校 3年 岡崎 紫

好きなものを買う時に、消費税を払う。

私は税金に対してその程度の認識しかしておらず、あまり馴染み深いものではありませんでした。

ある日、母が市役所から届いた書類を記入している時に「児童扶養手当」という文字が見えました。母に詳しく聞いてみると、私達の家族は、児童扶養手当やひとり親の医療費助成制度などの援助を受けていることがわかりました。私の家庭は母と姉、私の母子家庭です。父親がいない環境で育ってきた私が、欲しい服などを買ったり、高校受験のために塾に通ったり、日常を有意義に過ごしているのは「児童扶養手当」を受けているからだとなりました。

「児童扶養手当」はひとり親の家庭で扶養されている子が十八歳になる日以降の最初の三月三十一日まで給付され、税金で賄われている社会保障制度です。また、ひとり親の医療費助成制度はひとり親家庭に対し、医療を受けるために必要な費用の一部を助成する制度です。

私は正直、税金に対して「買い物たびに消費税をとられてしまう」とマイナスな印象を抱いていました。しかし、ひとり親家庭を援助する様々な制度のこと知り、私が不自由なく生活を送ることができているのは、多くの国民が払っている税金のおかげなのだと思います。税金が私達家族の生活や健康を支えてくれていると考えると、税金への私のイメージも大きく変わりました。

「ひとり親家庭で家計が苦しい中、第一志望の私立高校への進学は許してもらえないのではないか。」という心配や絶望を感じていましたが、私立高校進学の際には授業料支援補助金という国が授業料を援助する制度があることを母から教えてもらいました。どのような経済状況でも未来に進んでいくことができることも、税金のおかげです。

この作文を書くために、ひとり親家庭と税金について調べることで、税金を今までより身近に感じることができました。私の家庭同様に、税金によって生活を助けてもらっている人は多くいると思います。今、幸せな生活を送っている人々も国の援助がないと生活できなくなるでしょう。税金は「幸せな生活を送るための助け合い」だと思います。税金のおかげで私達の生活が助けられていることを、多くの人に知ってもらうことで、税へのイメージがプラスに変わると思っています。税金に込められた優しい想いを、この世の中の人に知ってもらいたいです。

ひとり親家庭は、より多くの税金に支えられています。これからは、働いている方々のお金を使わせてもらっていることを認識し、税金の正しい仕組みや使われ方を学び、社会に貢献できる大人になりたいと思います。